

伏見小学校の調査結果と傾向について

令和8年9月18日
札幌市立伏見小学校
校長 山田 健一

日頃より本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力を賜り心より感謝申し上げます。
さて、第6学年児童を対象に4月に実施されました「全国学力・学習状況調査」について、先の8月に札幌市教育委員会より札幌市全体の傾向の発表がありました。これを受けて、本校の調査結果の分析を進め、札幌市の傾向と合わせまして、成果や課題を分析して参りました。

つきましては、本校の全国学力・学習状況調査の結果と傾向について、広く保護者の皆様にお知らせするために、本紙を配付させていただきます。

なお、今回の全国学力・学習状況調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であります。これまで本校で取り組んでいる「問題解決的な学習」「学校行事」「児童活動」等、様々な教育活動の成果や課題と合わせて、今後の指導に生かしてまいります。引き続き、御理解と御協力をお願い申し上げます。

1 調査の内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数）

①	②
○身に付けておかなければ、後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 ○実生活において、不可欠であり常に活用できようになっていることが望ましい知識・技能等	○知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力 ○様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

※①と②を一体的に出題

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問調査

児 童 に 対 す る 質 問 紙 調 査
○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

2 実施日

令和8年4月23日（木）、24日（金）

3 調査を受けた人数

本校児童 第6学年 教科に関する調査 99名

生活習慣や学習環境に関する質問紙調査 99名

※調査結果についてのお問い合わせは、伏見小学校（富田）まで御連絡をお願いします。
札幌市立伏見小学校（551-2771）

【国語】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要

【領域】

【知識及び技能】

「言葉の特徴や使い方に関する事項」

◇全国平均を上回っている。

「情報の扱い方に関する事項」

◇全国平均を上回っている。

「我が国の言語文化に関する事項」

◇今年度は出題なし

【思考力・判断力・表現力等】

「話すこと・聞くこと」

◇全国平均を上回っている。

「書くこと」

◇全国平均を上回っている。

「読むこと」

◇全国平均を上回っている。

今回の調査における課題

「話すこと・聞くこと」に関わって

○音声資料の中で使われている比喻や反復などの表現の工夫に気づき、その効果を適切に捉えること。

「書くこと」に関わって

○集めた情報から必要な内容を抜き出し、引用を用いて自分の考えが相手に伝わるように書き表し方を工夫すること。

「読むこと」に関わって

○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。

改善の方向

「話すこと・聞くこと」に関わって

・話し言葉の中に含まれる表現の工夫に意識を向け、それが聞き手にどのような効果をもたらすのかを考える学習の充実を図る。

「書くこと」に関わって

・目的や意図に応じて情報を収集した上で、自分の意見とそれを支える根拠との関係を明確にしながら、適切に引用して文章を構成する活動の充実を図る。

「読むこと」に関わって

・文章内の事実や段落相互の関係性を的確に捉えるとともに、図表などを活用して情報同士の結び付きを整理し、内容を深く理解する学習の充実を図る。

【算 数】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本 校 の 概 要

【領域】

「数と計算」

◇全国平均を上回っている。

「図形」

◇全国平均を上回っている。

「測定」

◇全国平均を上回っている。

「変化と関係」

◇全国平均を上回っている。

「データの活用」

◇全国平均を上回っている。

今回の調査における課題

「数と計算」に関わって

○小数が整数と同じ十進位取り記数法の仕組みで表されていることを理解して条件に合う数をつくること。

○整数と小数の減法の計算

○百分率で表された割合と比較量から基準量を求めること。

「図形」に関わって

○複数の条件に合わせて箱をまとめ、直方体の三つの辺の長さを捉えて送料を求める応用問題。

変化と関係及び

「データの活用」に関わって

○二次元の表から条件に合う数を読み取ること。

改 善 の 方 向

「数と計算」に関わって

・ 小数の位取りの仕組みについての理解を確実なものとし、整数と小数が混在する計算処理に正確に取り組む学習の充実を図る。

・ 割合の意味を図や数直線を用いて視覚的に捉え、基準となる量と比較する量の関係性を正しく見極めて立式する活動の充実を図る。

「図形」に関わって

・ 図形の性質を日常の課題解決に活用する学習活動の充実を図る。また、算数に限らず日常生活の中で学びを活用していく意識を高められるよう各教科での取組を行う。

変化と関係及び

「データの活用」に関わって

・ 複数の条件が交差する表やデータから必要な情報を正確に取捨選択し、論理的に読み取る学習の充実を図る。

学習状況調査結果

学校や家庭での「学習」や「生活」の様子について

学習面の質問事項から

- 全国の割合に比べて、学校の授業時間以外に、普段（月～金）、1時間以上勉強していると回答した子の割合が上回っている。
- 全国の割合に比べて、国語の学習が好き、得意と回答した子が同程度かやや上回っており、算数については、好き、得意だと回答した子が下回っている。英語については、好き、得意だと回答した子が同程度かやや上回っており、授業以外でも使う機会があると回答した子が上回っている。
- 全国の割合に比べて、授業で ICT 機器を使用したと回答した子が上回っている。
- 全国の割合に比べて、「文章を作成する」「情報を収集する」「情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）」「プレゼンテーションを作成する」など、ICT 機器を用いて調査・分析・表現することができると回答した子が上回っている。

生活面の質問事項から

- 全国の割合に比べて、毎日朝食を食べていると回答した子が同程度かやや上回っている。
- 全国の割合に比べて、普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがあると回答した子が、同程度かやや上回っている。
- 全国の割合に比べて、学校へ行くのは楽しいと回答した子が上回っている。
- 全国の割合に比べて、普段（月～金）、30分以上読書をしていると回答した子が上回っている。また、放課後や休みの日に、本を借りるために地域の図書館を週に1～3回以上利用する子が、同程度かやや上回っている。
- 全国の割合に比べて、毎日、同じくらいの時刻に就寝したり、起床したりしていると回答した子が、同程度かやや上回っている。

本調査は、子どもの学習及び生活状況に関するアンケート結果を基に、本校児童の実態を全国の割合と比較分析したものです。

学習面においては、ICT 機器を週に3回以上使用したと回答した割合が全国を上回っており、文章入力や情報収集といった ICT 技能への強い自信も見られました。さらに、探究的な活動への肯定的な回答も上回っており、実践的な自己表現力が定着しているほか、英語への関心が高いことも特徴です。一方で、算数に対する肯定的な回答が全国の割合を下回っていました。今後は、算数において「分かる・できる」楽しさを実感できる指導を工夫するとともに、各教科で個々の理解度に応じたきめ細かな声掛けやフィードバックの充実を目指します。

生活面では、毎日の朝食や日常生活での幸福感が全国と同程度かやや上回っており、安定した心身の状態がうかがえました。昨年度の課題であった就寝・起床の規則正しさも改善し、全国の割合を同程度かやや上回っていることから、健全な生活リズムを維持していると言えます。また、学校外での読書時間や地域の図書館の利用率、読書環境や習慣についても、全国の割合と比較し良好な状況にあると考えられます。今後も、現在の安定した生活習慣を維持し、学校での読書活動を通して、読書のよさ、おもしろさを感じられるよう取り組んでまいります。